

第 110 回 日商簿記検定試験

3 級

予想の結果と講評

		第 1 予想	第 2 予想	第 3 予想
商業簿記	第 1 問	仕訳問題	仕訳問題	仕訳問題
	第 2 問	小口現金出納帳	勘定記入	商品有高帳
	第 3 問	決算整理後残高試算表（推定あり）→貸借対照表、損益計算書の作成	決算整理前残高試算表の作成	項目別取引から試算表作成 的中
	第 4 問	誤謬訂正仕訳	伝票作成	当期純利益に関する問題（勘定記入含む）
	第 5 問	決算整理仕訳→貸借対照表、損益計算書の作成	精算表（推定問題） 的中	精算表（順進問題）

「勘定記入」が全体のテーマであったと思います。転記の作業はもちろんのこと、すでに記入し終わった勘定を見て、どういう仕訳が行われたのか読み取る力が合否に大きく影響するでしょう。

第1問 割とオーソドックスな問題でした。2. は、各手形についてゆっくり考えることが必要です。4. は、不足していた時の仕訳を是非やってから、それをもとに解答しましょう。

第2問 商品の仕入、商品の売上ですので、商品有高帳にも記入されます。売上値引については、商品有高帳に記入されないことに注意が必要です。

第3問 問題文の勘定の記録は、“主要な勘定”（つまり一部）だけです。その他の勘定科目の動きについては、主要な勘定の中身から集計していくことになります。

その際に、5月1日の残高をたすこと、帳簿記録の二重取引に注意することが必要です。

第4問 仕訳を起こしてみる時に、日付順にやるのがポイントです。当座預金が足りているのか、残高を書いておくと考えやすいでしょう。

第5問 練習をしていた方も多く、解きやすい問題であったと思います。問題用紙の未処理事項を忘れないようにしましょう。